



耳をのぞいてみましょう

子どもの耳を観察してみてください。びっくりするほど耳あかが詰まっていることがあります。あまりすぎていると聞こえが悪くなったり、プールに入ると水でふやけて鼓膜を圧迫したり、ときには菌が繁殖して、外耳炎を起こすこともあります。

耳あかが見えていても取りづらいときは、無理をせず耳鼻科を受診しましょう



昭和ナースリー2月感染症報告

- 突発性発疹 1名(ひよこ組)
- ウイルス性胃腸炎 5名
(職員1名・うさぎ組2名、くま組2名)
- インフルエンザB型 3名
(うさぎ組2名・くま組1名)
- ヒトメタニューモウイルス 1名(くま組)

子どもも花粉症になるの!?

最近では花粉症発症の低年齢化が進み、2~3歳の発症も増えています。アレルゲン(花粉)が鼻や目に反応すると、くしゃみ・鼻水・鼻づまり、目のかゆみ・充血などの症状を引き起こしますが、この時期の屋外で症状が出るものは花粉が原因の「花粉症」の可能性がります。



↓↓子どもの花粉症のサイン↓↓

- 【くしゃみ】より【鼻づまり】が主な症状
 - 大人はサラサラ、子どもは少し粘っこい鼻水
 - 目の症状も高い確率で発現
 - 鼻をピクピク、口をモグモグも花粉症の合図
- 気になる症状があれば耳鼻科を受診しましょう。

【耳垢の豆知識】

(参照:日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 HP)



Q1. 耳掃除はしない方が良い?

A. ヒトには耳垢を自然に排泄する機能(自浄作用)が備わっているため、多少の耳垢であれば家庭で無理に取る必要はまったくありません。入浴後にぬれた耳を軽く拭う程度が無難です。耳掃除は医学的には不必要かつ危険な行為。どうしても耳垢が気になる場合は耳鼻咽喉科を受診することをお勧めします。

Q2. 耳垢がベタベタしています。異常ですか?

A. 耳垢とは、外耳道にある皮脂腺や耳垢腺から出る分泌物に外部のほこりや古くなった皮膚などが混ざったものです。カサカサした乾性耳垢とベタベタした湿性耳垢があります。耳垢のタイプを決定する遺伝子があり、乾性/湿性の割合には人種差があります。日本人の70~80%は乾性耳垢ですが、湿性でも全く問題がありません。

Q3. 耳垢は取り過ぎない方が良い?

A. 細菌やカビが外耳道に繁殖するのを防いだり、敏感な外耳道皮膚を保護する役割があります。また苦味があり、虫などの進入も防いでくれます。つまり耳垢が私たちの耳を保護しているのです。

進級前は気持ちが不安定になりやすい時期です



新年度を控え、多くの子どもたちが「お兄さん・お姉さんになる!」という喜びでいっぱいな時期です。ただ、なかには気持ちが不安定になる子もいます。上記のようなサインがあったら、何かストレスを感じているかもしれません。気になることがありましたら、看護師やクラス担任にお気軽にお声掛けください。